（小学生の部）

優良賞

◆盛岡市立好摩小学校　四年　**和山　歩加**
休みの日、お父さんといっしょにキャッチボールしたら
「じょうずになったな」だって。
来週は、あと一歩うしろからにしようか。

◆宮古市立千徳小学校　一年　**菊地　輝**
ぼくのとなりは　おかあさん
はんたいのとなりは　おとうさん
あさまでいっしょに　おやすみなさい

◆盛岡市立大新小学校　五年　**佐藤　佑亮**
宿題は自分の部屋でやりなさい
父に言われてムッとして
結局最後は居間でする

◆奥州市立胆沢愛宕小学校　六年　**渡辺　凌平**
ダイエットしている母。
でもぼくは、ぽっちゃりめの母が好き。
なんだかその方が安心できるから。

◆一関市立一関小学校　六年　**三浦　結花**
家族とは、血がつながっている人だと思っていた。
だがしかし心と心をかよわせている人だと分かった。
人と言う存在は、だれかときっとつながっていたい存在だ。

◆岩泉町立門小学校　四年　**山岸　彩乃**
毎日まいにち、私とけんかばっかりするけど
私がここにいるのはお兄ちゃんのおかげ
流れ星に妹がほしいってお願いしてくれたから

佳作

◆盛岡市立杜陵小学校　五年　**浅沼　拓斗**
お母さんぎゅっとされるとお日さまみたいにいいにおい
たまにかみなりおちるけど
いつもぼくのお日さまあったかい

◆盛岡市立河北小学校　五年　**熊谷　洋希**
コン　コン　パカッ　ジュウ
お母さんのとくいな　目玉やき
おかわりするよ　朝ごはん

◆盛岡市立永井小学校　三年　**小笠原　大也**
「ただいま」と言うと
「おかえり」と答える　おじいちゃん　おばあちゃん
ぼくのおかえしは　かたもみだ

◆紫波町立片寄小学校　一年　**城取　楓**
7にんかぞくのよるごはん
みんなそろってたべるとおいしいね
なんだか　かぞくのあじがする

◆奥州市立佐倉河小学校　六年　**石川　夏澄**
歯みがきしながら　かたならべ
「お母さんに　追いつくよ」と
鏡の前で　せのびする

◆奥州市立羽田小学校　一年　**佐々木　純名**
「いってきます」
うしろを見たらね、
お母さんは、ずっと手をふって見ていてくれたよ。

◆一関市立赤荻小学校　四年　**千葉　悠生**
家族みんなが　ぼくをおうえんしてくれる
がんばったね　よかったね　すごかったね
家族の言葉は　ぼくの　やる気スイッチ

◆遠野市立遠野北小学校　四年　**正部家　大輝**
僕と母さんは鏡だよ
僕が笑うと母さんも笑う
僕が泣くと母さんも泣くよ

◆岩泉町立門小学校　四年　**澤　美里**
こまったとき心の中でお母さんをよぶ
すると、笑顔のお母さん。
会えないけれど「だいじょうぶ」と安心できる。

◆久慈市立宇部小学校　三年　**中村　出海**
まっていました！
パパからの「今度帰るよ」という電話
見えないのに、おもわずガッツポーズしてしまう

（中学生の部）

優良賞

◆北上市立江釣子中学校　二年　**小原　早織**
最後の一本あまったアイス
それだけのためにジャンケン大会
そんな家族も大好きだ

◆山田町立豊間根中学校　一年　**吉川　奈央**
お父さんに　似てるって言われる
お父さんの前では　ヤダって言うけど
本当は　ちょっと　うれしかったりするんだ

◆盛岡市立城西中学校　二年　**堰合　瑠華**
つらい時、悩んでいる時
優しく待っている家族の笑顔
私の一番の特効薬

◆遠野市立宮守中学校　一年　**伊藤　和貴**
昨日、お母さんとけんかした　お弁当作ってくれるか心配だった
でも今日、お弁当を作ってくれた
帰ったらあやまろうかな

◆山田町立豊間根中学校　三年　**芳賀　牧奈**
いつのまにか　背筋をピンとのばしています
あなたのくせです
わたしは母さんの背中を見て　生きています

佳作

◆花巻市立矢沢中学校　一年　**浅沼　春香**
顔も　にあう服の色も　違うけど
「お姉ちゃんと同じだね」と
言われるのが一番うれしい

◆北上市立和賀西中学校　一年　**狩野　千遙**
心では分かってるけど　はずかしくてなかなか言えないこの一言。
いつか、言えるといいなぁ
「家族が一番好きだよ」って。

◆一関市立中里中学校　一年　**田中　美沙**
友達とけんかした　あやまれなかった
お父さんがおこった　はげましてくれた　勇気が出た
明日はかならず　あやまろう「ありがとう　お父さん」

◆一関市立中里中学校　二年　**田中　美紅**
わたしのお父さんは　少しシャイ
いつもムッとしている　本当はうれしいくせに
母さんとけんかをしても　ムッと。お父さんらしいね

◆一関市立興田中学校　一年　**菊池　允**
「ただいま」「おかえり」のあいさつが　いつのまにやら
「腹へった」「夕飯だ」にかわった　我が家
部活で帰りが遅くても、私が帰ってから囲む食卓っていいよね。

◆大船渡市立第一中学校　二年　**新沼　南**
「大嫌いだ」今までそれを何度思ってきたことだろう
「大好きだ」今までそれを何度思ってきたことだろう
いつもそばで支えてくれる　私の家族に対して

◆大船渡市立大船渡中学校　三年　**吉田　汐里**
子どもはなかなか分からない　大人の苦労を
大人はなかなか分からない　子どもの悩みを
でも、親子でなら分かる　自分たちの最高の愛を

◆大船渡市立綾里中学校　三年　**伊藤　夢乃**
顔を見ると　素直に言えないんだけど
ホントは　いつも心の中で呟いているんだ
「ありがとう」って

◆大船渡市立綾里中学校　三年　**佐藤　裕太**
夜遅く　明るい電気と機械の音
目をこすりながら　ジャージの穴をふさいでた
ありがとう　おかあさん！

◆釜石市立釜石中学校　二年　**葛西　流聖**
お父さんは　めりはり
お母さんは　やさしさ
ぼくの両親の自まんのよい所です。

◆宮古市立第一中学校　三年　**中里　葵**
「おはよう」と言えば「おはよう」と言ってくれる
「おやすみ」と言えば「おやすみ」と言ってくれる
これを「幸せ」っていうのかな

◆久慈市立久慈中学校　二年　**中野　拓海**
ことあるたびに「具合悪いの？」と聞いてくる
心配しすぎで困るけど
その心配が少しうれしい。

（幼稚園児の部）

優良賞

◆一関市立真滝幼稚園　四歳　**佐藤　虹春**
そらにくもがないのはね
おじいちゃんが　そらのうえで
くもを　どっかにとばしてるんだよ

◆久慈市　いなり保育園　四歳　**宅石　結**
お兄ちゃん　音読じょうずだね
結もママも　覚えたよ
はやく　一年生になりたいな

（保護者・一般の部）

優良賞

◆盛岡市　**下川　祝子**
心に　冷たい風が　吹いた日は
足早に帰っておいで
ふくふく笑顔の　家族のもとへ

◆盛岡市　**荒澤　牧子**
お兄ちゃんが　初めて取れた優勝旗。
障害のある弟寝たきりのひいおばさんのパワーをもらい家族の支えでつかんだ勝利。
おめでとう　8年越しの一本勝ち。

◆盛岡市　**菅原　登志子**
思いがけなく　真っすぐ育っているね　と言われて
なんだか　思春期まっさかりの息子が　誇らしかった
親子の会話が多いおかげかな

◆宮古市　**大浦　みどり**
父が届けてくれた取れたて野菜で　どんな料理を作ろうか
野菜をおいしく仕上げたら　パパも娘もほら笑顔
何気ないおしゃべりと　笑顔の食卓始まるね

佳作

◆盛岡市　**下又　拓也**
たくさん教えてくれてありがとう
悩んだときも助けてくれてありがとう
好きな釣り　また行こうね　お父さん

◆八幡平市　**田村　和香**
財布見ながら　つらいなあと　ため息つく私。
♪つらい時こそ　ヨサコイソーラン♪と　踊ってくれた息子。
そうだ、踊ってしまおう!!

◆一関市　**佐藤　洋子**
小学校最後の野球大会まであとわずか
喜びも悲しみも共にしてきた4年間が、今、涙で染まっていく
強い日差しの下で、真っ黒に日焼けしたその腕は　私達の誇りです。

◆陸前高田市　**村上　洋子**
私は産んだだけ。おばあちゃんが育てた息子が結婚するよ。
車椅子だっていいじゃない。右手が動かなくたっていいじゃない。
息子の晴れ姿、花嫁さんの笑顔　一緒にお祝いしようよ。

提言

地域活動って意外に楽しい

盛岡市　交通指導員
佐藤輝夫

交通指導員として学んだこと

交通指導員を始めたのは青年会議所の活動に熱中し、少年補導員などの地域活動に目覚めた30歳代後半でした。ある先輩から「そろそろ地域のために活動する時期だよね。」と言われ、軽く「そうですね。」と答えたら次の日に交通指導員の申請書が届いていました。気がつけばそれから14年。

土日、夏季冬季などの長期休暇を除いてほぼ毎日毎朝、交通指導を続けています。通学途中に会う下小路中学校生や立哨場所の城南小の児童や盛岡二高生たちといつも「おはようございます。」と笑顔を添えて挨拶を交わします。習慣と連続の力は大きく春の入学時には挨拶をしない中高生も夏頃には自分から挨拶をしてくれます。通勤途中の人もみんな挨拶を交わしてくれます。子ども達との朝の挨拶で活力が出てきます。元気が出ます。「挨拶は魔法の言葉」です。

ＰＴＡの活動で

２０００年に城南小ＰＴＡ副会長を受けて会議に出席したとき女性50に対し男性2という比率に驚き、困惑しました。慣れるのには時間を要しました。折しも父親のＰＴＡ参加が叫ばれ、親父の会が出来はじめていた頃です。当時の会長にその仕事を振られ、作ることにしました。しかし、どうにも親父の会というネーミングには抵抗感がある、ということで当初「お父さん出番ですよ委員会」という名前になりましたが、父親以外はダメなのか？と言う疑問から、おとうさん、おかあさん、おじいちゃん、おばあちゃん、おじさん、おばさん、地域の人ＰＴＡを卒業した人の参加可能、ということで「出番ですよ委員会」が出来ました。

現在も新陳代謝を繰り返しながら40人を超える規模で推移しています。ＰＴＡ活動を支援する一方でそれぞれが地域の人なのだという意識を持ち続けています。

近年、社会情勢の変化により防犯対策の強化が求められていますが、城南小では、２００７年に「ふれあいパトロール隊」を組織しました。各自治会町内会の役員有志の協力によって２００名を超える組織が瞬く間に出来上がったのです。

その年、褒め上手のスクールガードリーダーの方から「盛岡市内で城南ふれあいパトロール隊に並ぶものは無い」と言われる位大きな評価をいただきました。

その大きな要因のひとつは子ども会育成会が形骸化せずに活動を続け、町内会との関係を保ち続けてこれた事が大きいのです。さらに出番ですよ委員会や保護者有志とも有機的に絡み合うことで学校と地域がともに敷居が低くなり「挨拶運動」や「子どもの見守り」に大きな役割をはたしています。その後4年が経ちますが勢いは衰え知らずです。

地域の力って本当にすごい

いじめは地域の力で防ぐことの出来る面があります。一例がスポーツ少年団の指導者に教育振興運動を理解してもらうことです。スポーツ少年団の中には学校現場が関わらない場合もあり、勝利のために教育よりは競争を強いる例があります。親子とも、その方向に進む傾向がありますが、スポーツ少年団の指導者が教育振興運動を理解していれば中学に進学した時に部活動でスポーツ少年団出身者と他校出身の生徒との間のいじめを防ぐことが出来ます。

また、ＰＴＡブロックを超えた学区内小中学校の交流も地域の教育力を高めるために必要だと考えます。

小学校と中学校の先生の意識の違いや各小中学校ＰＴＡの考え方を互いに理解できるようになれば中学入学時の子ども達にとって中一ギャップを乗り越える大きな力になると思います。

盛岡ちびっこさんさ運営委員会の活動

「ちびっこさんさ」は今年23周年を迎えました。盛岡市の広報で小学生を中心に募集しますが、市内全域の他に紫波、矢巾、滝沢からも参加し、毎年２００名前後の団体となっています。ちびっこさんさ出身の子どもが大きくなって、ミスさんさやミス太鼓に多数選ばれています。三〜四歳児から小学校6年生迄という異年齢集団の構成のため、この中で育ち鍛えられる技術、勇気、思いやり、判断力等は想像以上に大きいものなのです。これは子ども達の健全育成に極めて有効に働いているものと思っています。

「さんさ友だち」という言葉が子ども達の間でいつの間にか出来ていました。子ども達の世界観では他地域の子どもと友だちになるのは異文化の激突でもあります。長年取り組んで思うことは規律ある子どもたちの相互交流に多いに貢献できたことや道具を大切にすること、丁寧な挨拶をすることを厳しく教える事が出来たこともちろんですが母親を中心とした保護者に対して伝承文化や和の文化も三世代を通じて継承できることです。針や糸を持ったことのない母親が子どものために浴衣の肩揚げ腰揚げや着付けをしなければならず、必要に迫られて自分の親や地域のお年寄りに方法を聞くことにより交流が生まれ、地域の活動に取り組みはじめるという例も見られます。

ね、地域活動って、意外に楽しいです。これからも、何かの活動に取り組もうと考えている人の背中を押すことが出来たならうれしいですね。

佐藤輝夫氏プロフィール

1959年生まれ。
2003年〜盛岡市立城南小PTA会長。
2004年盛岡市PTA連合会理事。
2009年下小路中PTA会長。
1996年〜盛岡市交通指導員。
1997年〜盛岡青年会議所副理事長。
2001年〜盛岡ちびっこさんさ運営委員会会長。
2010年〜盛岡商工会議所青年部会長
まるせい呉服店代表